

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-2-3		事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業	
担当	経済局産業振興部金融・創業支援課 伊藤 Tel211-2356				
全 体 計 画					
事業内容	<p>近年、団塊の世代が大量に定年等で退職しており、少子化傾向と併せて労働力人口が減少していく傾向にあるが、団塊の世代の知識や経験、ノウハウ、技能を活かして創業することも、社会貢献の一つとして注目されており、団塊の世代を中心とした高齢者の開業が増加傾向にある(2006年中小企業白書)。</p> <p>また女性の起業の実現率は男性より高いものの廃業率も男性の約2倍であり、男性に比べて起業や経営に係る知識・ノウハウや有用な人的ネットワークを形成するチャンスが少ない傾向がある(2006年女性労働白書)。</p> <p>これらの実態を踏まえ、(財)さっぽろ産業振興財団が主催となり、従来のセミナーの内容・回数を拡充させるとともに、女性や概ね55歳以上のシニア世代の起業希望者を対象にハンズオン型の企業支援の場である「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」を実施する。</p>		＜年度別の事業内容＞		
			<ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代、女性に特化した起業セミナー 19年度 2回 20年度 20回 21年度 10回 22年度 10回 <ul style="list-style-type: none"> ・女性・シニアのためのさっぽろ起業道場の開催 20年度 3期開講 21年度 3期開講 22年度 3期開講 		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	<p>(財)さっぽろ産業振興財団において、「女性起業家セミナー」及び「シニア創業セミナー」を各1回開講した。延べ25人が受講。</p>		<p>(財)さっぽろ産業振興財団において実施した人材育成事業(「女性の起業セミナー」、「団塊の世代の起業セミナー」)及び女性・シニアの起業支援事業(「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」)に対し、補助金を交付した。同セミナー及び起業道場(計23回実施)には、計171人の参加があった。</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セミナー(計20回実施):計147人受講 <ul style="list-style-type: none"> ・女性の起業説明会(計6回実施):計71人受講 ・女性の起業体験談(計4回実施):計28人受講 ・団塊の世代の起業説明会(計6回実施):計34人受講 ・団塊の世代の起業体験談(計4回実施):計14人受講 ○女性・シニアのための起業道場(計3回実施):計24人受講 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期(6～7月実施):計8人受講(女性7、シニア1) ・第2期(8月実施):計7人受講(女性6、シニア1) ・第3期(9～11月実施):計9人受講(女性8、シニア1) 		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)		
	<p>札幌市産業振興センターの指定管理者である(財)さっぽろ産業振興財団が実施する人材育成事業である起業支援セミナー(「起業家セミナー」・「女性・シニアの起業セミナー」)及び「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」に対し、補助金を交付した。</p> <p>上記のセミナー、起業道場により、女性176人、シニア28人が受講した。</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セミナー(計26回実施):計309人受講 <ul style="list-style-type: none"> ・起業家セミナー(計6回実施):95人受講(受講者内訳:女性16人、シニア9人、その他70人) ・女性・シニアの起業セミナー(計20回実施):計214人受講(受講者内訳:女性133人、シニア16人、その他65人) ○女性・シニアのための起業道場(計3回実施):計30人受講 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期(6～8月実施):計12人受講(女性11、シニア1) ・第2期(8～10月実施):計10人受講(女性8、シニア2) ・第3期(11～12月実施):計8人受講(女性8、シニア0) 		<p>札幌市産業振興センターの指定管理者であるキャリアバンク・東洋実業グループが実施する人材育成事業である起業支援セミナー及び「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」に対し、補助金を交付した。</p> <p>上記のセミナー、起業道場により、女性126人、シニア10人が受講した。</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○起業家セミナー(計15回実施):計196人受講 【女性・シニアを含む起業希望者を幅広く受講対象とする。】(受講者内訳:女性82人、シニア5人、その他109人) ○女性・シニアのための起業道場(計3期【1期あたり10回の講座を実施】):計49人受講 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期(7月実施):計13人受講(女性12、シニア1) ・第2期(8～9月実施):計15人受講(女性13、シニア2) ・第3期(10～11月実施):計21人受講(女性19、シニア2) 		
規模					
件数					
等					

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-2-3			事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数(累計)	2回	2回	25回	48回	51回	26回	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 セミナー・起業道場の受講を募るべく広く団塊の世代及び女性の市民に公募することで、市民参画に貢献している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]創業の際は、各種制度により資金サポートを実施している。 [人材協力]起業道場においては、講師などが伴走しながら、起業に関する知識・スキルを指導している。 [情報協力]セミナー・起業道場において起業に関する情報を提供している。 [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり セミナーについては、ホームページから受講申し込みができるように工夫しているほか、チラシや広報さっぽろへの掲載など、各種媒体を通じて広く受講者を公募することで、市民が参加しやすい環境づくりを実施している。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>平成22年度は、計15回の「起業家セミナー(女性・シニアを含む起業希望者を幅広く受講対象)」及び3期におよぶ「女性・シニアのための起業道場」を実施し、計245人の受講者に対し、様々な起業に関する情報提供をすることができた。</p> <p>特に、少人数制により、中小企業診断士等の講師が伴走する「女性・シニアのための起業道場」では、個別相談のサポート体制を構築の上、ハンズオン型の具体的な指導・助言を実施し起業を支援した。</p> <p>その結果、平成22年度の起業道場受講者のうち、9人(女性6人、シニア3人)が実際の起業に結びついた。</p>			<p>引き続き、受講者に対し、セミナーや起業道場の修了後も継続的な情報提供やアドバイスを行い、創業へ向けて支援を行っていく必要がある。また、より多くの受講者がセミナー、起業道場を受講するためのPR手法に検討を要する。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>廃業率が開業率を上回り、事業所数が減少傾向にある札幌市において、創業が活発になることにより、企業間の競争が活性化し、札幌の産業全体も活性化するなど、高い波及効果を及ぼすと考えられる。起業を考えた時のいわば「入り口」であるセミナー等、本事業の充実はもちろん、創業アドバイス、創業支援資金など融資、そして、官民含めた創業支援施設(インキュベーション施設、レンタルオフィス)などを幅広く周知し、起業を検討してから、創業に至り、実際に成功するまでの一貫したフォローアップ体制を確立していく必要がある。その中でも、女性、シニア層に対し、引き続き重点的な創業支援を行っていく。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-2-3			事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	5,000	5,000	5,000	15,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の	0	0	0	0				
	一般財源	0	5,000	5,000	5,000	15,000				
予算	事業費	0	6,000	5,900	4,300	16,200				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の	0	0	0	0				
	一般財源	0	6,000	5,900	4,300	16,200				
実績	事業費	0	6,000	5,714	4,300	11,714				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の	0	0	0	0				
	一般財源	0	6,000	5,714	4,300	11,714				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				106.8%				
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										